

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科		作業療法士学科		科 目 区 分		基礎分野		授業の方法		講義実習	
科 目 名		人間心理学		必修/選択の別		必修		授業時数(単位数)		30 (2) 時間(単位)	
対 象 学 年		1年		学期及び曜時限		前期 水1		教室名		402号室	
担 当 教 員		松田 直美		実務経験と その関連資格		医療分野(精神科・心療内科)、教育分野(スクールカウンセラー)、福祉分野(母子支援施設等)、産業分野(メンタルヘルス・ハラスメント対策等)など、多種分野における心理業務20年以上経験。また訪問看護ステーション開設/民間カウンセリングルームを開設					
《授業科目における学習内容》											
「心理学」という学問がどのような学問であるのか?ということについて、人間の心と働きについて、様々な視点から学び、主に人間の感じる・知る・考える仕組みを理解します。また、心理学の社会的貢献性(応用することによってできること)や、その可能性の限界(反対にできないこと)についても学びます。心理学が作業療法士にとって、どのような意味があるのかを考えながら、講義を中心に演習・体験も取り入れた授業でより身近なものとして学んでいきます。											
《成績評価の方法と基準》											
定期試験評価 70% 出席評価 20% 平常評価(授業態度、振り返りレポートなど) 10%											
【教科書】 自ら実感する心理学—こんなところに心理学— (編著 土肥 伊都子) 保育出版社											
【参考図書】 グラフィック心理学 (サイエンス社) / 必要に応じて適宜ご紹介いたします											
《授業外における学習方法》											
私たちの行動と心的世界は多様であるため、心理学の領域も極めて広汎であり、様々なアプローチがあります。特に講義では、多岐にわたる心理学の領域を短い期間で一通り、経験主義に基づく実験心理学を基盤として、知覚、学習と記憶、言語、思考、問題解決等を包括する認知心理学をはじめ、認知発達及び社会発達、パーソナリティ、社会心理学といった主な領域を中心に、体験型学習を取り入れて、自ら心理学を実感し学びます。体験・実感した心理学の知識を、日常生活での身近な出来事に置き換えて自分なりにポイントは把握するように工夫した予習・復習をお願いいたします。											
《履修に当たっての留意点》											
単なる知識の修得へ向けた予習復習にとどまらず、「なるほど」「なんでだろう」といった知的好奇心を持って、「こんなところにも心理学が関係しているのか」と日常生活の問題に結び付けて考え、具体的に心理学を実感し活用できるように、楽しみながら講義を受けてもらいたいと思います。											
授業の方法		内 容					使用教材		授業以外での準備学習 の具体的な内容		
第1回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	心理学とその歴史を知り、心理学概論を網羅的に理解し、今後の学習内容を把握する。心理学とは「心の謎」を科学的に解明する学問であること、心理学的見立てやアプローチが役立つことなどが把握できる。					教科書 第1章 P13-26 配布プリント 実感・体験 ワーク	【事前学習】教科書予習(30分) 【事後学習】授業の復習(30分)		
		各コマにおける授業予定	【心理学について知ろう】 実感してみよう オリエンテーション / 心理学の歴史								
第2回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	感覚心理学・知覚心理学について学びます。私たちの「感じる」感覚、「見える」知覚に関して、基本的な仕組みについて理解できる。					教科書 第2章 P27-39 配布プリント 実感・体験 ワーク	【事前学習】教科書予習(30分) 【事後学習】授業の復習(30分)		
		各コマにおける授業予定	【感覚・知覚】 心を使って、感じ、見聞きする 心を使って、感じ、見聞きする / 実感・体験ワーク								
第3回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	学習心理学について学びます。経験によって生じる比較的永久的な行動の変化を意味する心理学における学習を理解することができる。経験による心の変化と新しい情報を見つけ出す心の働きについて理解できる。					教科書 第3章 P40-52 配布プリント 実感・体験 ワーク	【事前学習】教科書予習(30分) 【事後学習】授業の復習(30分)		
		各コマにおける授業予定	【学習】 経験を積んで賢く生きる 学習様式・社会的学習・観察学習 / 実感・体験ワーク								
第4回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	記憶に関する心理学について学びます。私たちの日常生活は、そのほとんどが「記憶」によって支えられていることを改めて認識し、記憶のメカニズムや知識の構造などを理解することができる。					教科書 第4章 記憶P53-65 配布プリント 実感・体験 ワーク	【事前学習】教科書予習(30分) 【事後学習】授業の復習(30分)		
		各コマにおける授業予定	【記憶①】 人間ワザで覚え、思い出す 記憶する心の仕組み / 実感・体験ワーク								
第5回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	記憶に関する心理学について学びます。私たちの日常生活は、そのほとんどが「記憶」によって支えられていることを改めて認識し、記憶のメカニズムや知識の構造などを理解することができる。					教科書 第4章 記憶P53-65 配布プリント 実感・体験 ワーク	【事前学習】教科書予習(30分) 【事後学習】授業の復習(30分)		
		各コマにおける授業予定	【記憶②】 人間ワザで覚え、思い出す 記憶する心の仕組み / 実感・体験ワーク								

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	認知心理学や認知科学の分野で受け入れられている心についての考え方について学びます。（認知モデル） 人間が行う情報処理については、脳の働きと関連づけて理解し把握できる。	教科書 第5章 P66-78 配布プリント 実感・体験ワーク	【事前学習】教科書予習 (30分) 【事後学習】授業の復習 (30分)
		各コマにおける授業予定	【認知①】心は脳に居座っている 情報を処理する心のしくみ / 実感・体験ワーク		
第7回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	認知心理学や認知科学の分野で受け入れられている心についての考え方について学びます。（知覚と認知） 他者の存在が、個人の思考、感情、行動にどのような影響を受けているのかを理解し把握できる。	教科書 第5章 P66-78 配布プリント 実感・体験ワーク	【事前学習】教科書予習 (30分) 【事後学習】授業の復習 (30分)
		各コマにおける授業予定	【認知②】心は脳に居座っている 心の働き全般にかかわる認知 / 実感・体験ワーク		
第8回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	病気予防の心理学について学びます。 ストレスを知り、その対処方法を学ぶ(ストレスマネジメント) 自己管理としてのセルフケアを知り、ストレス対処方法を理解できる。日常生活や学校・職場での健康維持・促進を図ることができる。	教科書 第6章 P79-89 配布プリント 心理テスト 実感・体験ワーク	【事前学習】教科書予習 (30分) 【事後学習】授業の復習 (30分)
		各コマにおける授業予定	【生理】身体と心のつながり 心の健康 / 心理テスト・実感・体験ワーク		
第9回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	感情と動機づけに関する心理学について学びます。 感情の起きる過程を理解できる。動機づけ理論と認知過程にもとづく動機づけ理論を理解できる。	教科書 第7章 P90-102 配布プリント 体験ワーク	【事前学習】教科書予習 (30分) 【事後学習】授業の復習 (30分)
		各コマにおける授業予定	【情動と動機づけ】 こころが動き出すしくみ / 感情と上手につき合う / 動機づけ		
第10回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	パーソナリティ（人格）心理学について学びます。 パーソナリティについて、類型論などの古典的な理論について学びながら、「その人らしさ」を理解し把握できる。	教科書 第8章 P103-115 配布プリント 心理テスト 実感・体験ワーク	【事前学習】教科書予習 (30分) 【事後学習】授業の復習 (30分)
		各コマにおける授業予定	【パーソナリティ】その人らしさの捉え方 パーソナリティとは / 心理テスト・実感・体験ワーク		
第11回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	発達心理学について学びます。 人間の発達と心の働きについて理解し把握できる。	教科書 第9章 P116-127 配布プリント 実感・体験ワーク	【事前学習】教科書予習 (30分) 【事後学習】授業の復習 (30分)
		各コマにおける授業予定	【発達】心も年を重ねていく こころの働きの成長/変化 / 実感・体験ワーク		
第12回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	臨床心理学について学びます。 近年、社会生活を送っている一般の人の悩みを聴き、解決を助けるカウンセリングや、生きているのが困難で差し障りをもった人に対する心理療法などを理解し把握できる。	教科書 第10章 P128-141 配布プリント 実感・体験ワーク	【事前学習】教科書予習 (30分) 【事後学習】授業の復習 (30分)
		各コマにおける授業予定	【臨床】生きるのに不具合が生じたら 精神医学と心理臨床 / 主な精神障害 / 心の状態を判断する / 各種心理療法		
第13回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	社会心理学について学びます。 心理学では、自分以外に人が一人でもいれば、そこには社会が形成されていると考えます。個人の心自体に社会が入り込んでいるという考え方もあります。社会的スキーマ、バイアス、認知的不協和など理解し把握できる。	教科書 第11章 P142-156 配布プリント 実感・体験ワーク	【事前学習】教科書予習 (30分) 【事後学習】授業の復習 (30分)
		各コマにおける授業予定	【社会】人と人との間で生まれる心 自分の中の社会、社会の中の自分 / 実感・体験ワーク		
第14回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	多種多様な社会問題の中から、それらに関する問題解明のために、心理学が果たし得る役割について把握できる。	教科書 第12章 P157-168 配布プリント 実感・体験ワーク	【事前学習】教科書予習 (30分) 【事後学習】授業の復習 (30分)
		各コマにおける授業予定	【心理学が現代社会に貢献する可能性】心理学を現代社会で生かす 生命の倫理/リスクへの対応 / 性の多様性・柔軟性/グローバル化		
第15回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	心理学の知識を身近な出来事に置き換えて実感し捉えることができる。自分が日ごろ感じ考えていたことは、各心理学のテーマであり、専門用語にもなっていることに気づき理解を深めることができる。	教科書 第13章 P164-190 配布プリント 実感・体験ワーク	【事前学習】教科書予習 (30分) 【事後学習】授業の復習 (30分)
		各コマにおける授業予定	【自ら実感する心理学 総論】こころの健康 / まとめ (おまけ ポジティブ心理学 心理ゲーム又は体験ワーク)		